

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第7号 令和7年11月4日(火)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年118名 2年130名 3年152名 計400名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◇『点滴穿石』◇

校長

以前、国道51号線を車で走っていた時に、「春夏冬」というお店の看板を目にしました。知人に尋ねると、店名は、四季の中に秋がないことから「あきない」と読むことがわかり、妙に感心したことを覚えています。秋を感じない昭和100年の今は、背中を丸め俯きがちになりやすい激しい寒暖差。心と体は一体で心も俯きやすいから、温かなことばで目の前の相手を温められる、機知に富んだ日本語の使い手でありたいです。

さて、今年度の西志津中学校学校教育目標を、記憶されている方はどのぐらいいらっしゃるでしょうか。

「自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成」
～自己指導能力とWell-beingの涵養～

西中 Slogan「挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)」

自分が生徒として過ごした学校の教育目標を覚えているかと尋ねられると、答えはNOです。目標は、絵に描いた餅、となりやすいと痛感します。しかし文言はどうあれ、思いは職員だけでなく生徒も保護者のみなさまも同じくすることが、成長の力ぎであると思います。そこで先日、全校生徒が集う場で学習指導部長の小林から、パワーポイントを用いて「西中生のなっしてほしい姿・身につけてほしい力」について伝えました。

◎Well-being(自分と他者とでよりよく生き、満足を感じられる)を生涯にわたり獲得してほしい

◎そのために、西中生としてのWell-being(自分自身や集団としての達成感・成長実感が得られる)が感じられる学校生活に自らの力でしてほしい

◎そのために、『非認知能力』が高まることを意識して、伸ばすことに進んで取り組んでほしい

【非認知能力の例】

①挑戦力・向上力・実践力:難しさを感じてもやってみる力

②協調力・協働力:異なる考えを理解しあい力を合わせ物事に取り組む力

③復元力・粘り強さ:失敗や思うような結果が得られなくても気持ちを折らずに前に進もうとする力

(この3つが西中 Slogan です)

④自己効力感:やればできる・やればできたと感じる力

⑤自己制御力:感情に流されずに正しいことを実行する力

⑥楽観力:前向きな気持ちを持つ力

⑦コミュニケーション力:相手を選ばずに適切な関係を結ぶ力

⑧ユーモア力:言動で相手や場を和ませたり空気を温かくする力

⑨発信力・発表力:自分の意見や考えをわかりやすく伝える力

テストの点数や偏差値など数値で表すことができるものを「認知能力」というのに対して、数値で測ることのできない内面的な力を「非認知能力」といいます。この力は、幼児期から学童期にかけての日々の遊びや、生活の中での人との関わりの中で、自然と身につけたり伸ばしたりすると言われてしています。しかし、令和2年2月27日に内閣総理大臣から要請された一斉休校は、現在の西中生の小学校2～4年生の約3か月の学校生活を失わせることとなりました。その後も続く分散登校、マスク着用や3密回避など、現在の3年生が西中に入学して間もなくの令和5年5月感染症法5類移行まで、何かしらの他者との関わりの方断が続きました。このことは、子供達の「非認知能力」の涵養に何らかの影響を及ぼしたのではないかと推察します。しかしその時期に何かが足りなくても、「非認知能力」は大人になっても身につく、伸びると言われています。

大事なことは、自分に不足している力は何か・伸ばしたい力は何かをWell-beingの視点で捉え、身につけるためのチャレンジを続けること(挑戦力)。でも、すぐには結果が出ない・うまくいかないことの方が多いはずだから、心が折れることなく自分の気持ちを前向きに持ち直すこと(復元力)。さらに、一人では身につかない・学ぶことができない力がたくさんある。自分とは異なる考えを持つ人から離れるのではなく、適切なコミュニケーションを重ね理解を深め、相手を問わず目標に向かい力を合わせる(認め合い・協働力)ことを工夫を重ね実現しようとする。こと。

もしかしたら獲得すべき時期に、その機会に恵まれなかったかもしれない今の西中生。未来においてもWell-beingが感じられる人生を歩むために今、自分自身に真摯に向き合い、苦労を厭わず「非認知能力」を涵養してほしいです。

そしてその挑戦を、保護者と同じだけ『親心』をもって強く支援してまいります。『親』という字は、「木の上に立ち見る」と書きます。生徒の目線に立ち状況を把握し、木の上から生徒と生徒集団の未来を俯瞰した支援になるように。

保護者の皆様から寄せられたやまぶき祭アンケートのご意見をまとめました。たくさんのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。すべてのご要望やご意見に個別対応はできかねますが、いただいたご意見、ご感想は今後の企画、運営の参考とさせていただきます。

🎵 全体の感想・感動

●生徒の真剣な歌声に感動したという声が多く、「涙が出た」「心が震えた」。

●成長を感じた、団結して取り組む姿に胸を打たれたという意見が多数。

👍 良かった点

●音楽ホールという本格的な会場での経験が貴重だった。

●生徒主体の運営や発表が印象的だった。

●全校合唱やクラス全体のハーモニーが美しく、心に残った。

●指揮者・伴奏者・スピーチ係などでの活躍が良い経験になった。

📺 鑑賞・記録に関する要望

●他学年の合唱も動画などで見たい。

●欠席者や未就学児連れの家庭のために、後日視聴の機会があると嬉しい。

●撮影マナー(シャッター音・録音音・立ち見など)を残念に思う。

👤 会場・観覧について

●もっと多くの保護者が観覧できる工夫をしてほしい。

●保護者の私語・マナー違反に対する注意や対応を強化してほしい。

🧠 教育的な価値

●自分たちで曲を選び、練習する中で、話し合いや協力を重ねる姿に大きな成長を感じた。

●合唱祭は、思春期の子どもが人前で頑張る貴重な経験の場。

●教員の熱心な指導や、生徒への丁寧な配慮に感謝の声多数。



11月の主な予定

3日	月	文化の日	17日	月	一斉下校14:45
4日	火	2年生校外学習事前指導 一斉下校15:20	18日	火	
5日	水	3年生第3回定期テスト	19日	水	1・2年生保護者面談、3年生三者面談
6日	木	2年生校外学習、3年生第3回定期テスト	20日	木	1・2年生保護者面談、3年生三者面談
7日	金		21日	金	1・2年生保護者面談、3年生三者面談
10日	月	職員会議 一斉下校14:45	24日	月	勤労感謝の日 振替休日
11日	火	3年生第4回実力テスト 一斉下校15:10	25日	火	1・2年生保護者面談、3年生三者面談
12日	水	1・2年生第3回定期テスト 一斉下校12:15	26日	水	1・2年生保護者面談、3年生三者面談
13日	木	1・2年生第3回定期テスト 一斉下校11:50	27日	木	
14日	金	救急法講習(全学年)	28日	金	
スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。11月は6日(木)と13日(木)と16日(木)と27日(木)です。					

学習指導部より

《 西志津中学校が目指す Well-being 》

後期が始まり、新しいことへの挑戦や、学年のまとめに向けて自分とじっくり向き合う機会を持てる時期になりました。生徒たちは個々に目標を掲げ生き生きと学校生活を送っている様子です。

昨今、様々な場面で耳にするようになった「Well-being」ですが、先日、全校生徒に向けて西志津中学校が目指す Well-being をお話しました。学校教育目標のもと『自分自身や集団としての達成感・成長実感が得られる』ことと定義づけ、Well-being を実現するために非認知能力を身につけていくことが必要であると伝えました。非認知能力とは、感情のコントロールや協調性、問題解決能力など、学業成績だけではない内面的な大切なスキルの総称で、幼いころから人との関わり合いや経験を通して培われていくものと言われています。学校行事や各教科指導において、長期的・短期的に育む非認知能力を設定し、学習形態を工夫しながら授業を組み立て取り組んでいるところです。非認知能力は認知能力とは違いテストがなく、非認知能力がついたかどうかははっきりとはわかりませんが、定期テスト後や学校行事を終えた後で複数回実施してきた Edv Path (教育プラットフォーム) を通してみた生徒の傾向から、特に次の3つの能力について学校生活の中で育成していきたいと考えています。

1. 度胸・挑戦心・向上心・実践力：目の前のことをやってみる力
2. 粘り強さ・執念・復元力：失敗や思うような結果が得られなくても自己調整し前に進もうとする力
3. 協調性・協働力：相手を選ばずに一緒に目標達成に取り組む力

生徒が自分自身を客観的に見つめ、Well-being に向けてどういう行動をとっていかを考え実践していくことを支えてきたいと思っています。中学校生活のみならず、10年後、20年後も、生徒たちを取り巻く社会の中で Well-being を感じ、幸せな社会生活を送ることを願っています。

学習指導部

生徒指導部より

《 10月の生活目標のふり返りと、11月の目標について 》

10月の生活目標は「自分の行動に責任をもつ」でした。

生徒会役員選挙をはじめ、前・後期の入れ替えによって委員会活動や学級の係が変わった生徒が多く、環境の変化があった時期でした。新しい体制のもとでの活動も少しずつ軌道に乗り、責任をもって行動しようとする姿が見られるようになってきています。

一方で、まだ習慣として身につけていない部分もあるため、クラスでは活動の見直しを行いながら、互いに声をかけ合ってより良い形を目指していけるよう取り組んでいます。

11月の生活目標は「服装と教室環境を整えよう」です。

クールビズが終わり、季節が一気に秋から冬へと移り変わってきました。制服の着こなしを改めて確認し、学校全体で身だしなみを整えることを意識していきたいと考えています。

2年生は校外学習、3年生は進路に向けた面接練習や受験準備が本格化する時期です。学校の外に出る機会が増えるため、場にふさわしい服装や態度が自然に身につくよう、生活委員を中心に声かけを行っています。1年生にとってはまだ慣れない制服生活ですが、先生や先輩の姿をお手本にしながら、自分たちで整えられるように頑張っています。服装と並んで大切にしているのが、教室環境の整備です。机の中やロッカーの整理整頓を通して、「自分の使う場所を自分できれいに保つ」ことを支援しています。まもなく定期テストも始まりますが、学習環境が整うことで集中力や効率も高まると思います。

ご家庭でも、持ち物の整理や身だしなみについて話題にいただけると、学校での姿がよりよいものになると思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

生徒指導部

10・5 西志津敬老ふれあいフェスタ



西志津地区の秋の恒例行事「西志津敬老ふれあいフェスタ」が開催されました。多くの生徒の皆さんが様々な場面で活躍し、会場を盛り上げてくれました。



西志津中の生徒が大活躍！！

